

お元気ですか!

笑ってますか!



院内のあじさい



白アナベル(院外)

ページ紹介

- 1-2P 回復期リハ看護師認定者が活躍しています!
- 3P フレイル健診 4月からスタート
- 4P 南区北部いきいき見守り新聞
- 5P 最優秀賞を受賞しました マスクで地域貢献
- 6P レシピ紹介



回復期リハ看護師認定者が活躍しています！

回復期リハビリテーション病棟（以下、回復期リハ病棟）では、急性期病院で助けられた命を生活につなげるために、多職種チームでかわり、慢性疾患を制御しつつ、機能障害の改善、日常生活動作の向上、在宅復帰を目的とした集中的なリハビリテーション（以下、リハ）を実践しています。

患者さんが再び住み慣れた場所でその人らしく生活を送れるように、生活の再構築を支援します。さらに、急性期・回復期・生活期とそれぞれの時期に適切なリハが継続的に提供されるように橋渡しの役割もしています。

回復期リハ病棟で看護師は、①患者さんの健康管理とリスク管理、②基本的ケアの実践、③精神的サポートの実践、④学習支援、⑤チームの調整役、⑥患者さん・家族の支援者、など多職種チームのなかで、専門職として重要な役割を持っています。

2007年に回復期リハ看護師認定制度が発足し、患者さんおよびその家族に対して質の高い看護を提供し、個人・集団・組織に対するリスクマネジメントを行い、多職種との協働とチームアプローチの実践ができるリーダナーズの育成が始まりました。

現在、回復期リハ病棟には、5人の回復期リハ看護師が活躍しています。回復期リハ病棟に特化した、実態に即した研修を修了したエキスパートナース（達人）です。その5人にコメントを頂きましたので紹介いたします。

立石八千代



回復期リハ看護師として10年目になります。主に看護師・介護士の院内教育に関わってきました。

看護師に関してはクリニカルラダー（臨床看護実践能力の段階的な基準）レベルⅠ・Ⅱの研修を、介護士に関してはプリセプター（新人指導者）や介護過程（患者さんが望む「自分らしい生活」を実現させるために必要な思考過程）の教育計画を立てて研修を行ってきました。ここ数年は経験の浅い看護師の入職が多くなってきました。院内研修の内容を見直し、経験の浅い看護師に対応した研修を行っていきたいと思います。また、新卒採用の看護師の教育も充実させていくことが今後の目標だと思っています。

善常会リハ病院に勤務し7年目になります。回復期リハ看護師に認定されてから4年目に入りました。回復期リハ看護師として、院内で研修や教育に携わり、外部では研究発表、実践報告、シンポジスト、雑誌掲載などを経験しました。その為周囲と関わるなかで、たくさんの刺激を頂き、学ぶことができています。認知症ケア専門士も取得しましたが、十分な実践に至っておらず、今後は、研究発表や学習会を通して、後輩指導と共に自己成長をしていきたいと思っています。

稲垣奈美



丹羽京子



善常会に入職5年、回復期リハ看護師の認定を受け3年目となります。入院患者さんに付き添って来られたご家族から「以前家族がここで世話になり、とてもよくしてもらって。次も是非この病院に、と思ってたんです。」と感謝の言葉をいただくことが度々あります。そのたびに過去の先輩スタッフが回復期リハ精神で地域貢献してこられた歴史に思いを馳せ、私たちがそのバトンを繋いでいく使命、重みを実感せずにはられません。思いやりの心を持って患者さんに寄り添い、希望する生活へ近づけていく退院支援を積極的にすすめ、ラダー研修、看護研究、臨地実習、後輩育成など、『私自身が楽しんで』自己研鑽を積み、スタッフと共に成長していきたいと思ひます。

回復期リハ看護師の認定を受け、3年目になりました。NST(栄養サポートチーム)ワーキングの主要メンバーとして活動しています。昨年からワーキングリーダーとしていかなる患者様にも経口摂取へと導けるように、メンバーと相談しながら日々取り組んでいます。

今後は、看護師がリハ栄養を理解し実践できるように、学習会や資料提供、日々の教育指導に取り組み、管理栄養士と共有したチーム医療の展開に貢献したいと思ひます。



日高直子



花村章代



回復期リハ看護師の認定を受け、2年目となりました。病棟では主任という立場であり、スタッフの教育に携わることが多くあります。自分が回復期リハ看護師として、病棟のスタッフに与える影響は大きいと感じています。日々、チームカンファレンスや看護計画の評価、ミニカンファレンスなどの際に患者様主体の目標が達成できるように専門的かつ具体的、適切なアドバイスを提供し、より良い在宅復帰、自宅でのADL(日常生活動作)と生活の質の維持ができるようなかわりをサポートしていきたい。今後はより、自身がスタッフ教育を行う立場において、多くの視点で看護展開をしていけるようなスタッフをたくさん育てていきたい。





保健指導と介護予防が一体化され
75歳以上の後期高齢者のフレイル対策を強化



健康余命への影響因子として、疾病や身体的健康度のみでなく、加齢とともに心身の活力が低下し、要介護状態などの危険性が高まる「フレイル」も注目されています。

令和2年4月より重症化予防に着目した健診、いわゆる「フレイル健診」が始まりました。後期高齢者の質問票には、「6カ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか」「以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか」といった15項目の質問で構成されています。

(以下、質問票添付)



フレイルとはいったいどのような状態なのでしょう？

フレイルとは、加齢とともに心身の活力(例えば筋力や認知機能など)が低下し、生活機能障害、要介護状態、死亡などの危険性が高くなった状態を指しており、これまでにフレイルが生活機能障害や死亡のリスクを上昇させることが示唆されています。また、高齢期のフレイル、メタボリックシンドロームが要介護認定情報を用いて定義した自立喪失に及ぼす中長期的影響(草津町研究)によると、フレイルは日本人高齢者の中長期的な自立喪失の有意の危険因子であることが明らかとなっています。

当てはまる項目がないかチェックし、食事・運動などの生活習慣を見直してみましょう。

参考文献)日本公衆衛生雑誌/64巻(2017)10号

<質問票の内容について>

類型名	No	質問文	回答
健康状態	1	あなたの現在の健康状態はいかがですか	①よい ②まあよい ③ふつう ④あまりよくない ⑤よくない
心の健康状態	2	毎日の生活に満足していますか	①満足 ②やや満足 ③やや不満 ④不満
食習慣	3	1日3食きちんと食べていますか	①はい ②いいえ
口腔機能	4	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか ※さきいか、たくあんなど	①はい ②いいえ
	5	茶や汁物等でむせることがありますか	①はい ②いいえ
体重変化	6	6カ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	①はい ②いいえ
運動・転倒	7	以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか	①はい ②いいえ
	8	この1年間に転んだことがありますか	①はい ②いいえ
	9	ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか	①はい ②いいえ
認知機能	10	周りの人から「いつも同じことを聞く」などの	①はい ②いいえ
	11	物忘れがあるとされていますか	
喫煙	12	あなたはたばこを吸いますか	①吸っている ②吸っていない ③やめた
社会参加	13	週に1回以上は外出していますか	①はい ②いいえ
	14	ふだんから家族や友人と付き合いがありますか	①はい ②いいえ
ソーシャルサポート	15	体調が悪いときに、身近に相談できる人がいますか	①はい ②いいえ

質問 NO3 は下記のようなねらいがあって作成されました。

- 欠食などによる、低栄養のリスクをスクリーニングする質問である。
- “きちんと”という文言から、食事内容、食事時間を想定した回答を得られる。

南区北部いきいき見守り新聞

いきいき支援センターは地域の皆様に役立つ情報を発行しています



困ったときはどこに相談しますか？

名古屋市では

地域包括支援センターを「いきいき支援センター」

と呼びます

いきいき支援センターは「介護保険サービスの相談」というイメージがありますが「どこに聞けばよいかわからない」「ちょっと相談にのってほしい」時などにご利用いただく「**高齢者の総合相談窓口**」です。

いきいき支援センターは名古屋市より委託を受けた法人が運営しております。南区北部は、**医療法人財団善常会**が委託されています。

いきいき支援センターはいろいろな人・機関と**連携・協力**しながら支援を進めていきます

南区役所の福祉課

南区役所の高齢者福祉相談員

民生委員

市営住宅巡回員

いきいき相談室



かかりつけの医師

薬剤師

病院の相談員など

孤立も認知症も「準備」「予防」の時代よ！

いきいき支援センターには「**見守り支援員**」がいます

見守り支援員は孤立防止に取り組む役割を担っています。孤立に陥ってからではなく「困った」「助けて」と思ったときSOSが出せる体制を作っていきます。

住み慣れた我が家で生活を続けていくためにどんな方法があるか今からやっておけることなど「準備」「予防」をお伝えしています。

自分では「困ってないし、迷惑をかけていないから大丈夫」と思っている、高齢になると周囲から心配される存在になります。

南区にはまだまだ介護保険サービスに頼らず生活ができる方もたくさんいます。

病気の事やこれからの生活のことなどを話していくうちに、心配していた問題の糸口が見つかり、良い方法が見つかるかもしれません。



編集後記 介護保険制度が始まって20年。まだまだいきいき支援センターの名前も役割も知られていないと感じています。元気なうちから情報のアンテナを張っておくと「上手に介護が始められる」と思います。

南区北部いきいき支援センター 見守り支援員 丸田佐貴子

最優秀賞を受賞しました



高阪 友祐さん

昨年12月22日、「超高齢化社会の医療 ～医療・介護・生活支援の3要素と介護医療院の誕生～」をテーマにした「東海慢性期医療協会第22回研修会」が名古屋国際会議場で開催され、リハビリテーション部の高阪友祐さんの「除草剤まき動作獲得により意欲の向上が認められた一症例」が、一般演題21題の中から栄えある最優秀賞を受賞しました。内容は在宅における訪問リハビリの関わりで行動変容や参加活動に繋がった症例の発表で、日々の利用者さまとの努力が実を結んだ形の報告でした。

同研修会では、一昨年にリハビリテーション部の中川幾江さんが優秀賞を受賞しており、一昨年に続いての快挙でした。

文責:リハビリテーション部 河合仁

マスクで地域貢献

名古屋市南区北部
いきいき支援センター

新型コロナウイルス感染症対策として必要とされたマスクが店頭から消え、手に入らず困っていらっしやった方も多かったと思います。その状況をどうにかできないかと、じーば工房などの地域の皆様によるマスク作り活動が始まりました。

まだまだ対策が必要とされる中、地域の皆様のお役に立つことが出来れば幸いです。

不織布で 使い捨てマスク を作ろう!!

- | 【材料】 | 【用意する道具】 |
|----------------------------|----------|
| ・不織布
1枚 (17cm×45cm) | ・はさみ |
| ・ゴムを通す部分の布
2枚 (3cm×8cm) | ・ホッチキス |
| ・ゴム
2本 (20cm) | ・ゴム通し |

マスクが手に入らないときに、不織布で手作りマスクを作成しました。作り方の冊子は、民生委員を通じて、地域の高齢者にお渡ししていただきました。

不織布の手作りマスク



布マスクは、
じーば工房の皆様が
手作業で作りました!



名古屋養育院へマスクを寄贈したところ、子どもたちからお礼のパネルをいただきました。

ブロッコリーの肉巻き揚げ

388 kcal



《材料》 2人分

ブロッコリー	-----	100g
豚かたロース肉	-----	100g
塩	-----	0.5g
黒コショウ	-----	少々
小麦粉	-----	20g
卵	-----	20g
パン粉	-----	20g
揚げ油	-----	20g

(ソース)

ケチャップ	18g (大さじ1杯)
マヨネーズ	10g (大さじ1杯弱)

パプリカのマリネ

パプリカ(オレンジ)	-----	40g
パプリカ(赤)	-----	40g
酢	-----	15g (大さじ1)
砂糖	-----	2g
黒コショウ	-----	0.02g
オリーブ油	-----	4g (小さじ1)

たんぱく質
14.1g

脂質
24.1g

炭水化物
15.3g

塩分
0.9g

- 1 ブロッコリーは小株にカットして、ゆでる。
- 2 豚バラ肉に塩、黒コショウを振る。
- 3 ゆでたブロッコリーを冷まし、2の豚バラ肉で巻く。
- 4 小麦粉、卵液、パン粉の順につけて、200度の油で揚げる。
- 5 4を1/2にカットし、皿に盛りつける。
- 6 ソースは、マヨネーズにケチャップを混ぜ合わせて、皿に添える。

調理のポイント

ブロッコリーを隠すように包みます

組み合わせ例

ブロッコリーの肉巻き揚げ
パプリカのマリネ
玉ねぎと卵のコンソメスープ

管理栄養士 馬場 正美

回復期リハビリテーション病棟・総合リハビリテーション承認施設
善常会リハビリテーション病院 (95床)

0120-179-101

〒457-0046 名古屋市南区松池町1-11
 TEL 052-811-9101(代) FAX 052-811-9390

老人保健施設 シルピス大磯 (103床)

0120-374-854

〒457-0043 名古屋市南区戸部町3-55
 TEL 052-811-5553 FAX 052-811-9429

訪問看護ステーションさくら

0120-834-390

〒457-0046 名古屋市南区松池町2-14
 TEL 052-811-9356 FAX 052-811-9357

善常会 居宅介護支援事業所

0120-558-996

〒457-0046 名古屋市南区松池町2-14
 TEL 052-811-9335 FAX 052-811-9362

名古屋市南区北部いきいき支援センター

〒457-0005 名古屋市南区桜台1丁目1番25号 桜ビル1階
 TEL 052-811-9377 FAX 052-811-9387

**名古屋市南区北部いきいき支援センター
 分室**

〒457-0846 名古屋市南区道德通3-46
 TEL 052-698-7370 FAX 052-698-7380

**訪問看護ステーションたんぽぽ&
 居宅介護支援事業所たんぽぽ**

0120-794-476

〒464-0850 名古屋市千種区今池5-16-13
 TEL 052-735-9799 FAX 052-735-8564

**社会福祉法人善常会
 特別養護老人ホーム
 オレンジタウン笠寺Ⅰ (80床)**

〒457-0058 名古屋市南区前浜通2丁目1-2
 TEL 052-811-5585 FAX 052-811-5685

**社会福祉法人善常会
 特別養護老人ホーム
 オレンジタウン笠寺Ⅱ (80床)**

〒457-0058 名古屋市南区前浜通2丁目1-3
 TEL 052-819-0550 FAX 052-819-0581

病院理念 基本方針

◆温かい医療 ◆支える医療 ◆信頼の医療

1. 地域リハビリテーションを通して、社会に貢献します
2. 患者さまとの対話を重ねつつ、チーム・アプローチを実践します
3. 保健・医療・福祉のプロフェッショナルとして技術、知識、思いやりの心を追求します
4. 患者さまが安心してサービスを受けることができる安全文化を醸成します
5. 患者さまと職員の笑顔の絶えない環境づくりをめざします

名古屋市南部認定調査センター

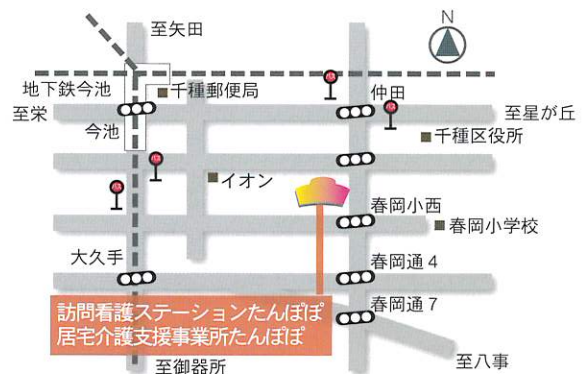
〒457-0038 名古屋市南区桜本町141番1 桜本町小林ビル2階
 TEL 052-824-6001 FAX 052-824-6002

グリーン訪問看護けろっと

〒454-0032 名古屋市中川区荒江町7-10
 TEL 052-655-6020 FAX 052-655-6021



最寄り駅 停留所
 名鉄 本笠寺駅より徒歩5分 JR 笠寺駅より徒歩7分
 市バス 千種通り7丁目停より徒歩6分
 笠寺西門停より徒歩6分
 南区役所停より徒歩7分



写真とイラストで見る善常会のホームページアドレス <http://www.zenjokai.jp>

回復期リハビリテーション病棟・総合リハビリテーション承認施設

善常会リハビリテーション病院

〒457-0046
 名古屋市南区松池町一丁目11番地
 TEL 052-811-9101(代) FAX 052-811-9390

0120-179-101

診療科目 / リハビリテーション科・内科・神経内科

外来診療 入院 訪問診察
 通所リハビリテーション 訪問リハビリテーション



このマークの五つのマルは、在宅ケア・施設ケア・通所ケア・地域社会を表し、中心は患者さまを意味しています。グリーンは、やさしさ・思いやり・自然を。そしてブルーは技術・論理を表し、地域ぐるみのコミュニケーションをシンボライズしたものです。